



## 上場地区長寿会（湧水町）

発表者：小 峯 稔 氏

こんにちは。湧水町の小峯と申します。

私は、上場地区長寿会で会長を務めておりまして、本日は日頃の活動を発表いたします。

皆さんご存知でしょうが、湧水町は鹿児島県北部、スライドに出ておりますが宮崎県との県境に位置しております。

平成17年に旧吉松町と旧栗野町が合併、現在の湧水町となりました。

名前のおり、「日本の名水百選」にも選ばれた「丸池の湧水」がある、水のきれいなところ です。

春夏はヒガンザクラやパラグライダー、また空気が冷え込む季節になると、早朝、地表の水分が霧となって立ちのぼり、盆地ならではの壮大な雲海が見られます。

上場地区には、別府地区・馬場迫地区・水窪地区・佃地区と4つの自治会がありますが、私は栗野岳の下に位置する集落の佃地区に生まれました。上場小学校の近くの湧水の出る「豆付け水源地」は、その昔、正月の雑煮に使うもやしをつくる豆をこの清水につけておいたことに由来するきれいな水源地ですが、今でも湧水町の水道水にも利用されているこの素晴らしい水を農業用水にも利用してきました。



水田のお米作りにもこのおいしい水を使うため、秋の収穫はおいしいお米が収穫されます。

地区内でも多くの農家は蚕を飼育していて、私も年間に6回飼育をして、朝早くから夜遅くまでみんなで仕事をしながら、地区内の小使いを務め、また20歳から上場消防団員として活動し、旧栗野消防団長まで務めました。

この間には水害や大きな人家火災等がありました。平成5年8月の大雨の大災害時には道路等が破壊され、役場の災害対策本部まで歩いて行った思い出があります。

42歳の時に旧栗野町の町議会議員になり、特に私たち山間地区では道路が狭く車の離合ができないため、地区で話し合いを重ね、「全ての地区に救急車と霊柩車とせめて小さいバ

スが入れる道路を作りましょう」とみんなが協力し、今では道路が整備されました。

議員を辞めた年に、上場地区の区長を引き受け、4年間の中で、長く休会していた鬼火焚きを復活させたらどうかと、まず小学校のPTA保護者と消防団員の方々に子供さんたちのためにとお願いをして大きな櫓ができました。この鬼火焚きは現在も続いています。

区長3年目の時に当時の老人会長から、上場老人会は役員をする人がいないので休会にするとお話があり、私は休会にしたら地区には小学校もあるし、子供たちとのふれあいなどなくなってしまうと考え、区長と老人会長と兼務で引き受けることにしました。ただ、各地区から連絡員は必ず出していただくように話し合いました。

会長を引き受けて今年で10年目になりますが、この間に名前を変えて「上場地区老人会」を「上場地区長寿会」と改めて、現在80名で活動しています。

私たち「上場地区長寿会」は、「いきいきアップ健康講座」をはじめ、役場の保健師・食生活指導の先生方との研修やグラウンド・ゴルフや温泉旅行を通して、高齢者の健康づくり、生きがいを推進しています。



また、われわれ長寿会は子供とのふれあい活動にも積極的に動いています。地区をあげて皆で協力して盛り上げていますのでその様子を紹介します。

これは灯籠祭りの様子です。そして先ほど説明にありました鬼火焚きです。

これは十五夜です。子供がお相撲を取って

います。

小学校・校区合同運動会では、運動会に先駆けて、郷土芸能の練習を行います。この写真は棒踊りの練習風景です。

小学生に毎年上場地区に3つある郷土芸能「鎌手踊り」「建築踊り」「棒踊り」を1つずつ教えていきます。そして、合同運動会や、湧水町の農業祭などで披露しています。この写真は建築踊りです。

収穫の季節には学校農園でできたサツマイモを使って一緒に焼き芋やガニを作ったり、竹と



んぼ作りやグラウンド・ゴルフを一緒にしたりと、交流を図っています。

私どもは、子供たちとのふれあいを大事に思い、今後の地域の未来を子供たちが引き継いでくれますことを楽しみに思い、頑張っています。

そして、長寿会員は、みんなが健康で長生きされ、楽しい毎日を一緒に過ごしていけるよう、今後も頑張っていきたいと思っています。

